

令和2年度第1回 逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進会議の概要

【日時】 2020年（令和2年）7月30日（木）9:30～11:40

【場所】 逗子市役所5階第2会議室

【出席者（敬称略）】

＜メンバー＞福井座長、水口副座長、田中メンバー、小林メンバー、島メンバー、古畑メンバー、平松メンバー、下境メンバー、東メンバー、尾前メンバー、岩佐メンバー、須藤メンバー、村松メンバー

＜アドバイザー＞出石アドバイザー

【欠席者】 石井メンバー、松田メンバー、三宅メンバー

【事務局】 福本担当部長（途中退席）、仁科企画課長、金子主任、山口主事（記録）

【傍聴者】 なし

【資料】 次第

逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進会議メンバー名簿

令和2年度逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進会議スケジュール

資料1 令和元年度逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略（基本目標）の進捗状況表

資料2 令和元年度地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告

参考1 令和元年度逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略（具体的施策）の進捗状況表

参考2 令和元年度逗子市人口データ集

参考3 令和元年度逗子のまちづくりに関するアンケート調査集計結果

参考4 まち・ひと・しごと創生基本方針2020

1 開会

2 メンバーの交代について

○事務局から会議メンバーの交代を報告した。

- ・湘南信用金庫のメンバーが、北村メンバーから平松メンバーに交代した。
- ・市職員のメンバーが異動により、芳垣メンバーから岩佐メンバー、山田メンバーから村松メンバーに交代した。
- ・事務局に異動があり、福本が経営企画部担当部長（企業誘致・起業促進・ICT政策担当）として、仁科が課長として参加することとなり、山口が加わった。

3 スケジュールの確認

○「令和2年度逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進会議スケジュール」をもと

にスケジュールの確認を行った。

4 令和元年度実施事業に関する効果検証について【意見交換】

(1) 逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

○参考2をもとに逗子市の人口について、座長が説明した。

○参考1を参考にしながら、資料1について、総合戦略の基本目標ごとに全体で意見交換を行った。

○次のような質疑、意見交換が行われた。

◆基本目標1

(島メンバー) 全体的なことだが、具体的施策の自己評価について、昨年に「目標年次までに達成できる見込みである」としていたものが、今年「達成しなかった」と評価が変わった理由として新型コロナウイルスの影響があるか。

(事務局) 新型コロナウイルスの影響と一概に言い切れず、把握できていない。

(出石アドバイザー) 新型コロナウイルスの影響については、しっかりと分析を行っていくべき。全体的に把握する必要があることを意見として挙げることを検討してもらいたい。

(田中メンバー) 分析を行うにあたり、具体的にどういった部分を注視すれば、新型コロナウイルスの影響を確認できると考えるか。

(島メンバー) イベントの中止などが新型コロナウイルスの影響によるものであれば、明確にその影響であると言えると思う。今まで5年にわたって目標達成のために事業を進めてきたと思われるので、最後の1年が新型コロナウイルスの影響によるものであるとすれば、非常に残念な結果になってしまうので、昨年度との比較の中でイベント実施状況によるものなのか、施策的な問題なのかは見ていくべきだと思う。

(出石アドバイザー) 施設の来場者やイベント出席者など具体的な数値として挙げられる施策は新型コロナウイルスの影響が出やすく、一方、アンケートや内部統制などは新型コロナウイルスの影響が出づらと考えられる。市民の活動や事業活動については、新型コロナウイルスだけの影響と言い切れない部分があり、達成できなかったことについて分析をしなくてはならない。

(座長) ご指摘いただいた点について、受け止めたい。今回、1期目の最終年であるところであり、数値結果として、達成しなかったとしているところである。一部達成できない見込みとしている部分は現時点で数値が確定していないものであることを補足させていただく。

(副座長) 「1-1 ①結婚から妊娠、出産に向けた支援」のKPIについて、主な取組みで「婚活の支援」が未実施になっているが、こういった目標達成のための入口となる施策が手つかずにならないように、今後の総合戦略については検討願いたい。

(出石アドバイザー) 国の施策であるため、市の取組みだけで目標達成できるものではな

いが、今のような意見を受けとめて、次につなげて、PDCAサイクルを回していくことが重要だと思う。

◆基本目標 2

(副座長)「2-1 ①移住・定住施策の推進」のKPIが達成しなかったところであるが、それぞれの主な取組みについてどういった反応があったのか伺いたい。KPIの達成率が低いので、次の展開につなげていくような施策をしていかなければいけないと思う。

(事務局) KPIの目標数値を設定した経緯として、地方創生推進交付金を活用して都内で移住講座の実施を検討していたが、財政的な問題により、地方創生推進交付金を除く市負担額の捻出が困難となり、市民への施策を優先するため、予算のない中で進めてきたものである。神奈川県が実施する移住セミナーに参加するなど、新たな試みを行っているところであるが、目標達成には至っていないところである。実績として記載している数値は、移住について直接市役所にお問合せがあった件数をカウントしている。また、2期の総合戦略では国の総合戦略にも掲げられている関係人口という考え方を盛り込んでおり、地域の課題解決など定期的に逗子に関わる人を増やす取り組みを考えている。今年度、地域活性化センターの補助金を用いて関係人口を意識したイベントを実施し、そこで移住ブースを設置するなど、市として、KPIの目標達成のため、取り組みを進めていく。

(出石アドバイザー) 社会増を目指すために、市外にどうアプローチすることが大事であり、転入が多い地域をターゲットに積極的な取り組みを検討してもらいたい。

(出石アドバイザー)「2-2 ②移住・定住施策の推進」に関わることだが、京浜急行の新逗子駅が逗子・葉山駅に変わったことは影響があったか伺いたい。

(島メンバー) いい方向に向かっているとは思っているが、新型コロナウイルスの影響により葉山女子旅きっぷを中断している影響もあり、結果が見えていない状況と考えている。

(出石アドバイザー) 逗子市のみで関係人口を増やしていくことは難しいと考えられるため、住民を含む近隣市町や関係団体との連携が重要となってくる。

◆基本目標 3

(出石アドバイザー)「3-1 ①快適な通勤環境の支援」について、昨年度の会議でKPI目標に民間駐輪場の収容台数も加えることとしていたため、昨年度の民間駐輪場の収容台数も考えれば、目標達成しているとしてよいのではないかと。

(副座長)「3-2 ①商工業の活性化への支援」について、KPI達成のためにはどのような取り組みをすればよいのか伺いたい。

(岩佐メンバー) 逗子市では創業支援に力をいれている。商工会や市内金融機関と連携して、セミナーや会合等を行い、KPI達成に向けて、創業者に対し支援を行っている。

(出石アドバイザー)「3-3②新たなビジネス等の創出への支援」は達成できなかった中でどういった評価で考えられるか、伺いたい。

(岩佐メンバー) KPI の目標数値を設定した経緯として、2016 年に逗子市が作成した創業支援事業計画における目標件数が7件/年であり、それを5年間の単純計算を行ったものである。初めて計画を策定したこともあり、実際にどの程度創業されるか読めなかった中で、毎年一定数の創業があり、目標は達成できていないが、一定の評価はできると考えている。

◆基本目標4

(出石アドバイザー)「4-1③自然を生かしたまちづくりの推進」は大幅に減っているが、その理由を伺いたい。新型コロナウイルスが原因となるか。

(事務局) 荒天により中止になったイベントが多くあったためと考えられる。新型コロナウイルスによりイベントが中止となったものもあるため、新型コロナウイルスも影響していると考えられる。

(出石アドバイザー) 現在の進捗状況表は実施内容しか書かない様式となっているが、理由などを記載する欄があってもいいように感じる。

(副座長)「4-3①健康長寿のまちづくりの推進」の KPI 目標の根拠を再確認したい。

(須藤メンバー) 当初の経緯としては、要介護認定率の逆である要介護の必要がない率を取ったものである。逗子市は高齢化率が高く、当初から厳しい目標であるとは考えているが、現在の取り組みで今の数値まで上げることができていると考えている。

(事務局) 補足として、元々総合計画の目標としてあったものを KPI 目標としているものである。

(出石アドバイザー) 元気高齢者とは異なるが、要介護度を下げる取り組みは行っているか伺いたい。要介護度の改善・維持も重要と考えている。

(須藤メンバー) その点も重視しており、現在の取り組みでその点においても推進している。

(出石アドバイザー) 総合的病院誘致について現状を伺いたい。

(須藤メンバー) 急性期の病床数の確保が困難になったことにより、総合的病院の開設の見通しが立たなくなったため、断念することとなったが、今後も総合的病院誘致は引き続き進めていく。

(平松メンバー) J R 東逗子駅前用地活用事業について現状を伺いたい。

(事務局) 2018 年度に基本構想(案)を作成したが、その後事業予定地南側の民有地と一体的に整備することへ方針を変更し、その交渉に時間がかかっていることなどから基本構想を策定できていない。

(出石アドバイザー)「4-1⑤持続可能なまちづくりの推進」の KPI 目標について、広域処理やレジ袋有料化の関係もあり、目標達成に向けて引き続き努力してもらいたい。ま

た、「4-2①市民同士をつなぐ事業の推進」のKPIの達成見込みを伺いたい。

(岩佐メンバー) 現時点では見込みはない。市民主導で進めなければならない中で進め方を検討しているところである。

(小林メンバー) 「4-1③自然を生かしたまちづくりの推進」について、2019年度達成しなかったところであるが、逗子市は自然が豊富なので、今後もそれを活かしたまちづくりの推進に観光協会としても力を入れていきたい。

(副座長) 新型コロナウイルスの影響もあり、従来からの前提が変わってきている。既存の取組みに縛られず、今の状況に柔軟に対応した取組みを行ってほしい。

(2) 地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告について

○資料2について、事務局が説明した。

○本件(資料2の内容)について、了解された。

5 今後の取り組みに向けて【意見交換】

○基本目標に対する意見については、事務局で取りまとめ整理し、アドバイザーに確認後、メンバーに確認することとした。

○事務局から以下の点について、情報提供及び説明を行った。

- ・令和2年度の国の地方創生推進交付金について、三浦半島魅力最大化プロジェクトを枠組みとする神奈川県、三浦半島の4市1町の広域連携事業として認定を受けている。逗子市ではテレワークの推進イベント、ジュニアヨット教室、観光イベント、乗合タクシーの実証運行を行う予定である。
- ・逗子市では関係人口の増加に寄与することが見込まれるワーケーションの推進を進めている。7月1日から戸田建設(株)と連携し、逗子会館においてワーケーションの実証実験を行っている。
- ・4月から企業版ふるさと納税の制度を活用し、企業から寄付を募集する取組みを行っている。
- ・昨年度から民間事業者等が参加し、意見交換やネットワークの構築ができる場として「platform ZUSHI BIZ」を設置した。現在80社程度に参加してもらっている。逗子市に関わる企業等にご活用いただいて、連携していければと考えている。

7 閉会